

令和4年11月14日臨時部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和4年11月14日（月） 午前8時35分から午前10時10分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長（代）、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

1 報告

（1）オンライン委員会の導入と対応について（議会事務局）

標記事項について、議会事務局長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

2 協議

（1）組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料2参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）令和4年12月市議会定例会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（3）令和4年度12月補正予算案について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料4参照）

○質疑

〔商工観光部長〕以下の修正をお願いしたい。(5)「建設・製造・運送業対象原油価格高騰対策特別支援事業」の一番下、新規開業者を市外事業者等へ。

〔財政部長〕確認させていただく。

〔西澤副市長〕市有施設電力・ガス価格高騰対策事業について、全額一般財源であり臨時交付金の対象にはならないのか。

〔財政部長〕臨時交付金の対象外である。

〔西澤副市長〕指定管理施設についても3月補正をすると思われるが、かなりの負担増になる。市長会等で、普通交付税や特別交付税について緊急要望がないとすれば、市の特別交付税要望等に入れるのがいい。

〔財政部長〕市の特別交付税要望に入れることを考えている。

国の特別交付税予算は、今年災害が多く苦しい状況と聞いているが、一方で、各地方自治体等の光熱費の動向に注視しているとも聞いている。国へ要望するべきと思っている。

〔西澤副市長〕何かしら考えた方がいい。

○今後の方向性

原案を了承

(4) 子どもの貧困対策計画（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）の実施について（こども未来部）

標記事項について、こども未来部長から説明した。（資料5参照）

○質疑

〔保健所長〕子供の貧困率について、本市は9%が困窮家庭であり、国では13%が子供の貧困となっている。長野市の低さについてどのように考えた方がいいのか。

〔こども未来部長〕国の基準を参考にすると、本市の所得は全国と比べ低くないため、このようになっている。本市の貧困とする考え方は、低所得、家計の逼迫、子供の体験や所有物の欠如の3項目において、2つ以上該当するものとしている。

〔子育て家庭福祉課〕国の13.5%に該当する部分が、①低所得に該当し本市は11.2%となり、本市では約9家庭に1家庭が貧困、国では約7人に1人となる。

〔保健所長〕低所得であるが困窮家庭に含めていない人に対する貧困対策がなくてよいのかの懸念があり、そこを説明する必要がある。

所得が少ない人へのサポートは必要だが、本市全体の所得分布を示した上で、その中で国の定義による貧困の割合を明らかにして、そこをサポートするとの構成とするのがよい。

所得の格差をなくしていかない限りは、子供の貧困は改善していかないため、所得の実情と対策を計画中に示し、なぜ子供の貧困が起こるのかを説明することも必要ではないかと思う。

〔こども未来部長〕就労関係も含めて、所得について調査結果を示したが、全体の所得分布をデータとして作成しているが、今回は、所得だけではなく多面的な方向で調査・検討しており、計画の中に反映できるものは今後とも反映していく。

〔保健所長〕低所得の要件だけの人を除外するのではなく、これも含めるように直すのがいい。

所得の分布について示していただき、現状をわかりやすく伝える必要がある。

〔議会事務局〕この計画で一番考えるべきことは、貧困の連鎖を断ち切ることであり、それに必要なのは教育であると考え。特に女性のひとり親家庭では非正規労働が多くなっている。

主な取り組み内容に、自分の将来を主体的に考えるキャリア教育の推進についてを示すことで計画が明確になるため、資料に取り込む検討をいただきたい。

〔こども未来部長〕「子どもの貧困庁内連絡会議」等でキャリア教育も含め施策の中に取り組みめるよう教育委員会等と既に検討しており、本文の中には記載している。

〔議会事務局〕概要版へ、子供の教育を重視していく点を明示するのがいい。

〔こども未来部長〕概要版への具体的な取組としての記載については関係課と検討する。

〔企画政策部長〕注目される計画になる。意見等参考に進めるようお願いする。

○今後の方向性

パブリックコメント実施について了承

(5) 長野市活力ある学校づくり ～信更の子どもたちの「新たな学びの場」について～（教育委員会）

標記事項について、教育次長から説明した。(資料6参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(6) 第四次長野市子ども読書活動推進計画(案)に対する市民意見等の募集 (パブリックコメント)の実施について(教育委員会)

標記事項について、教育次長から説明した。(資料7参照)

○質疑

〔企画政策部長〕電子図書の導入について、GIGAスクール関連との連携はあるのか。

〔藤澤教育次長〕今、電子図書館は県との共同で県が運用しており、GIGAスクール構想の1人1台端末で電子図書館を一部の学校で使っている。今後、子供たちが読む専用の電子図書等の研究をしていきたいと考えており、GIGAスクール構想と連携していく。

〔保健福祉部長〕読書環境の整備について、端末機器等の給付とは障害施設に対する給付か。放課後デイサービス等に対するものか。

〔家庭・地域学びの課〕障害のある方に機器の給付を行っている事業があり計画の中に盛り込んだもの。個人に対する給付と聞いている。

〔保健所長〕本編にはあるが、概要版にも、これまでの計画の評価と今後の数値目標があるといい。

本編に数値目標はあるが、子供がどの程度本を読んでいるのかアウトカムの指標が見られない。子供たちの読書のアウトカムの指標をとらえ、その推移を追うことが重要と思うが難しいか。

〔藤澤教育次長〕各学校での学校図書館での貸し出し冊数等は分かると思うので、経年について確認し、検討していきたい。

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 定年延長制度について(総務部)

標記事項について、総務部長から説明した。(資料8参照)

○質疑なし

(2) 放課後子ども総合プラン事業の新たな運営法人「一般財団法人 ながのこども財団」の設立について(こども未来部)

標記事項について、こども未来部長から説明した。(資料9参照)

○質疑

〔財政部長〕人件費については、今の社会状況を考えると一定程度上がることは理解する。一方、この制度は、事業費が半分利用料金に反映していくと思うが、今後の検討にあたり利用料金にどう反映するのか検討して欲しい。

〔こども未来部長〕本事業については、国から児童健全育成事業の受益者負担として事業費の半分は利用者負担ということが示されている。受益者負担の観点と無料の子供教室の部分を併せて、その実情を数字等で把握した上で利用料についても検討したい。

[財政部長] 今後利用料金が上がると思うが、新組織の存在意義を市民に理解いただくためにも、新組織ができて経営の効率化や事業費が抑えられた等の説明が必要。

○市長から

今年度も残すところ4ヵ月余りとなったが、最後まで全力投球していただくようお願いする。